

文化歴史



15 真宗出雲路派本山 毫攝寺

「毫攝寺東大門のたふとかれ山かぜは撒く朱金のもみち」と与謝野晶子が詠んだこの寺は、越前国四本山の一つ。天皇から勅願所の繪旨を賜った由緒ある寺院。御影堂門、御影堂、阿弥陀堂門、経藏、鐘楼、鼓楼など多くの建造物が建ち、荘厳な雰囲気。



自然



6 バイカモの群生とトミヨの生息する治左川

初夏から可憐な花をつけるバイカモと、水草で巣を作り子育てをするトミヨ(絶滅危惧種)が生息する、湧水を集めて流れる治左川。川の横には「治左川井戸」があり、「ふくいのおいしい水」の認定を受けている。



14 野々宮廃寺 県指定史跡

白鳳時代7世紀後半の寺院跡。発掘調査では、埴垣や瓦片、和同開珎などが出土した。建立者は古くからこの地を支配した味真氏と考えられる。



万葉ロマンの道

味真野に点在する史跡、自然、文化を万葉の歌とともに巡ることができるコース。味真野観光協会が篤志家の協力を得て、味真野ゆかりの万葉相聞歌63首を刻んだ道標(灯笼)を、味真野苑から小丸城跡までの2キロにわたって建立した。途中にはポケットパークもあり、盆には全ての灯笼に火が入り幻想的。



7 若宮清水

味真野扇状地の先端付近にあたり、点在する泉の中の一つ。今も地域の人が野菜や果物を冷やすなど生活水として使っている。



13 小丸城跡

味真野地区には、「武衛山城」「真柄館」「鞍谷御所」、そして「小丸城」の4つの城があったといわれている。中でも小丸城は、野面積みの石垣や堀跡も残っており往時をしのぶことができる。天正3年(1575年)に織田信長の家臣・佐々成政が築城した。乾槽から、前田利家が一向一揆を厳しく弾圧した様子を記した文字丸瓦が出土した。この瓦の複製は、万葉館(味真野苑内)で見学できる。



12 霊泉寺

室町時代、越前守護斯波義敏が開いたといわれ、境内には斯波一族の墓がある。また大仏殿には、約9mの木製大仏が鎮座しており武生三大仏の一つである。

11 味真野神社・鞍谷御所跡 市指定史跡

継体天皇を祀る神社で、鞍谷氏の屋敷跡に建てられた神社。境内には、謡曲「花笠」の記念碑が建立されているこの地は、室町幕府足利将軍一門で越前守護斯波氏の子孫が、鞍谷氏を名のり住んだ館跡と考えられている。境内をコの字に囲む土塁と空堀が残っている。



10 興徳寺・真柄十郎左衛門の墓

約700年前に建立された、時宗の寺院。境内には、総長3mの日本で最も大きな太刀を使ったといわれる真柄十郎左衛門直隆の一族の墓がある。直隆は朝倉氏の客将で、姉川の合戦で織田・徳川軍を苦しめた。大太刀は、越前打刃物の祖千代鶴国安が鍛えたという。



9 蓑脇の時水

「残したい日本の音風景100選」に選ばれたほか、県指定名勝にも選ばれている間歌冷泉。谷間の洞孔から、湧水が増えたり減ったりを繰り返すことから、その流れる音で時を数えたといわれている。標高611mの大平山中腹にあり、軽登山の準備が必要。



8 武衛山・武衛山城跡

1470年頃、足利一門の斯波義敏が築城したといわれている武衛山城跡が山頂にある。標高321m、約2Kmの登山道は約1時間のコース。地区民が熱心に整備しており、幼稚園児もハイキング気分を楽しめる。

